



## ネットショップだけじゃ売れない

「ネットショップをつくれたら、うちの野菜売れるのにな……」。そう思っているみなさんへ、私は声を大にして伝えたい。ネットショップのページだけあっても売れません。絶対に売れません。あなたの野菜を購入できる販売ページにお客様を連れてこないと売れません。

じゃあ、どうすればいいの？ ずばり、インスタグラムを農産物を育てるかのように育てばいいのです！ すると、販売ページにお客様が来てくれるようになります。

インスタグラムの他にも道具はたくさんあります。ユーチューブ、フェイスブック、ツイッター、最近ではクラブハウス。それぞれ特性が違う

# ネットは魔法じゃない、 農産物と同じく育てるもの

前号の「無添加こどもグミい〜」への大反響にお答えして、インスタグラムの活かし方、もっとお知らせします!!

猪原有紀子 (和歌山県かつらぎ町)

ため、自分に合った道具を使うことをおすすめしています。その中でも、インスタグラムは使い手をあまり選ばず、発信初心者さんには扱いやすい道具だといえるでしょう。

想像してみてください。あなたは今から山に登ろうとしています。頂上に到着できれば「あなたから買いたい!」と言ってくれるお客様に出会うことができます。この山に登るために私がおすすめしている道具がインスタグラムです。

さあ、「出会いたいお客様に出会える」この素敵な山へ、一緒に登ってまいりましょう!

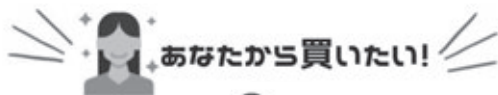
## 三つの勘違い

私は2019年に新規就農しました。それまでは10年間、ウェブマーケティングの会社で通販サ



祝!  
連載開始

猪原さんの助手のくま子です。  
私も講座をお手伝いしま〜す



イトの立ち上げや運営を行なってきました。SNSを駆使しながら、広告費をかけずインターネットを集客し、販売するのを生業にしてきました。そんな私が農家になり、インスタグラムで発信をしながら和歌山県の廃棄フルーツでつくった「無添加こどもグミい〜。」というおやつを販売した途端、全国の農家や企業の方からメッセージをいただくようになりました。

この「無添加こどもグミい〜。」は農家の廃棄

フルーツを買い取り、地域の障害者福祉施設で加工から発送までを行ない、おやつストレスに悩む全国のお母さんたちに届けています。広告費を一切かけずインスタグラムだけで集客しており、販売開始当日に、たった5時間で150セット完売、半年間で約1万袋出荷しています(本誌21年春45号参照)。

農家のみなさんから「俺のモモもネットで売ってくれよ」とか、「ドライフルーツをつくってみたいけれど売れない」「インスタグラムを更新してるけれど、売り上げにはつながっていない」など質問が相次ぎました。そこで「ネット音痴でも大丈夫! 農家のためのマーケティング講座」を開催したり、地元の農家のネットシヨップを立ち上げたりするなかで、気付いたことがあります。9割の農家のみなさんが「三つの勘違い」をしています。この三つの勘違いをクリアすると、あなたが出会いたいお客様に出会える可能性が、とても高くなるのです。

### 「毎日コツコツ」発信すべし

まず一つ目の勘違いは「インターネットができれば魔法のようにすぐ商品が売れる!」と思っ

ていること。インターネットは魔法ではありません。農産物を育てることと同じで、毎日育まなければいけないものなのです。

インスタグラムを始めてみたけれど、気が向い



地元の廃棄フルーツでつくった「無添加こどもグミい〜」。インスタグラムの集客だけで半年で1万袋を販売



農